

NEW ART!!



栄町に2つ目の現代アートが誕生！街に飛び出すアート！
成田空港圏初の現代アート拠点「ふわりの森」にアートを観に行こう

本誌連載特集中の成田空港圏初の現代アートプロジェクト「ふわりの森」プロジェクトを手がけるアーティスト、シムラユスケ氏が空港圏に初の現代アート拠点を開き、ギャラリー、アートカフェなどをプロデュース。空港を囲む豊かな自然をフィールドに次々とアート作品を誕生させ国内外から注目を集めている。ふわりの森では2014年よりアーティストが滞在制作を行う「アーティスト・イン・レジデンス(※1説明以下AIR)」をスタート、毎年話題のアーティストが集結している。本年度のゲストアーティストとして、タイからカラフルな絵を描くジュリベイカーが2ヶ月間の滞在制作を行い今年も話題のアートが誕生！街に飛び出したアートについてシムラユスケ氏に話を伺った。

栄町に2つ目の現代アートが誕生しました。今回のアート作品について教えてください。

「2014年にプロジェクトをスタートし、AIRでは国内外のアーティストが滞在し、学校とアーティストがコラボした校内作品など様々なアートを残しています。今年は屋外での作品を展開し、2017年に栄町と自身がコラボレーションしJR安食駅のエレベーターをアート作品に変えたのと同じように街の中で体感できる作品の第二弾がこの壁画になります。公園内で老朽化したトイレの建物を壁画で包みアート作品

として完成させました。



シムラユスケ氏による
アートエレベーター (UR成田線安食駅)

今回の作品はAIRで滞在したジュリベイカーとの協働作品で、この地域に滞在し見えてきた景色・時間を描いています。JR安食駅のアートエレベーターもこの地域のロードマップになるように地元の物を取り入れた絵画になっていて、今回の壁画も栄町の景色を描いています。「SUNDAY」日曜日の休日のように豊かな時間」と題した本作は、鳥が栄町の利根川や田園の上を飛び、田畑の中にカラフルな花が咲いています。元々は古墳をイメージして設計されたこの建物をキャンバスに、アーティストが実際に住んでみることで感じた栄町の豊かな自然や空気の良さを明るく描いています。



現代アートを描く前の公衆トイレ

以前は老朽化で壁面が剥がれ落ちていたり、手洗い場の鏡が無く